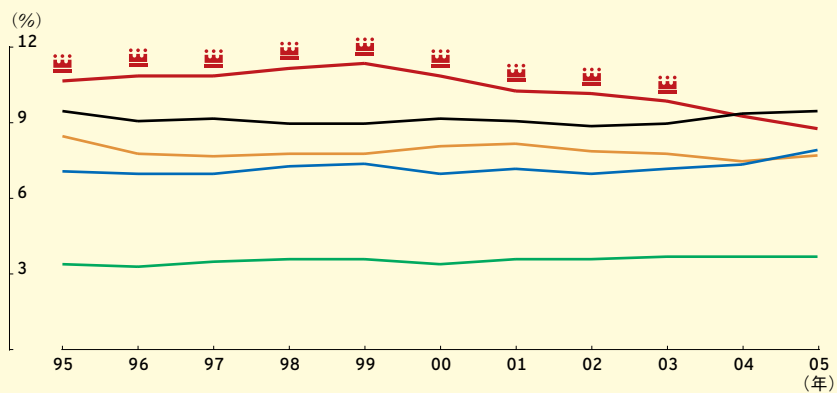
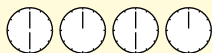
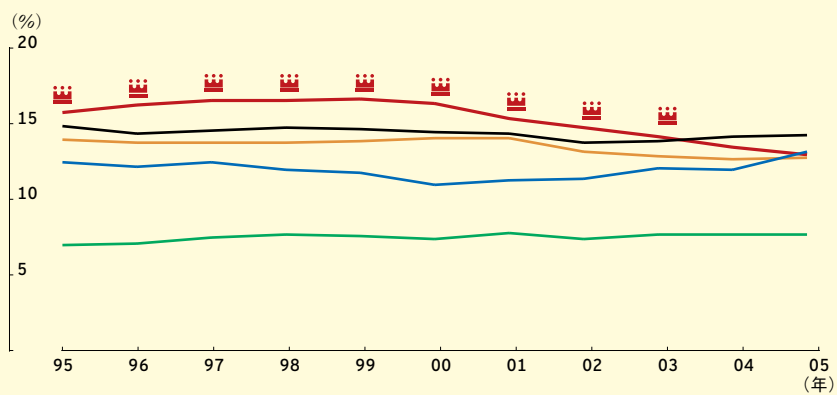
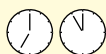


時間帯別平均視聴率

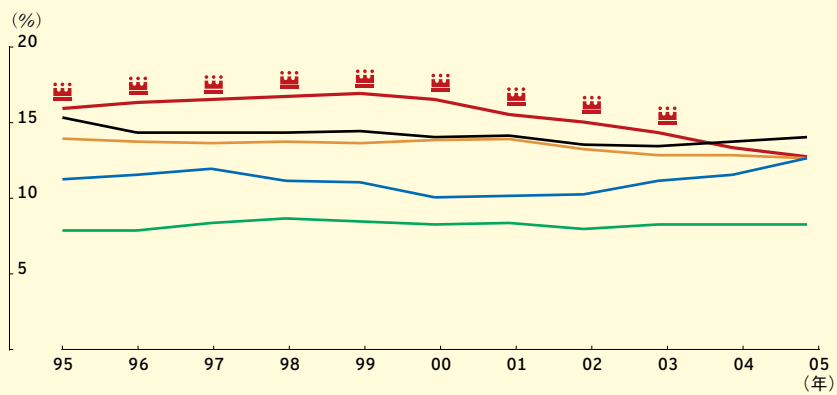
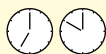
全日
(6:00-24:00)



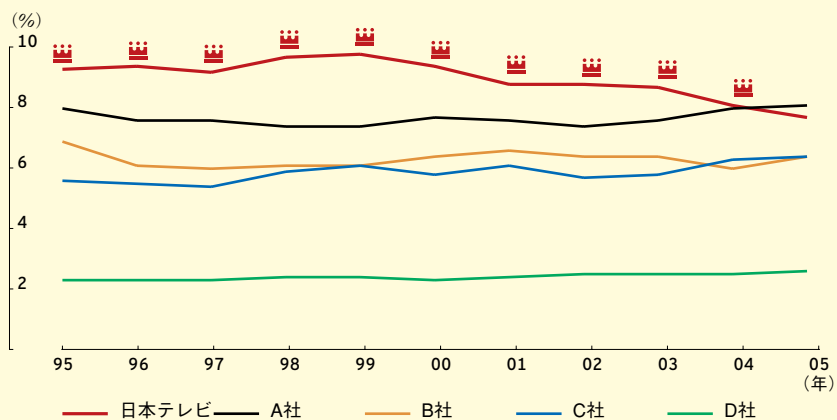
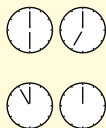
プライム
(19:00-23:00)



ゴールデン
(19:00-22:00)



ノンプライム
(6:00-19:00
23:00-24:00)



今さら聞けない

日本のテレビ基礎知識

Q1. 日本のテレビの法律はどうなっているの？

テレビ局は放送法と電波法という法律に基づいて事業を行っています。

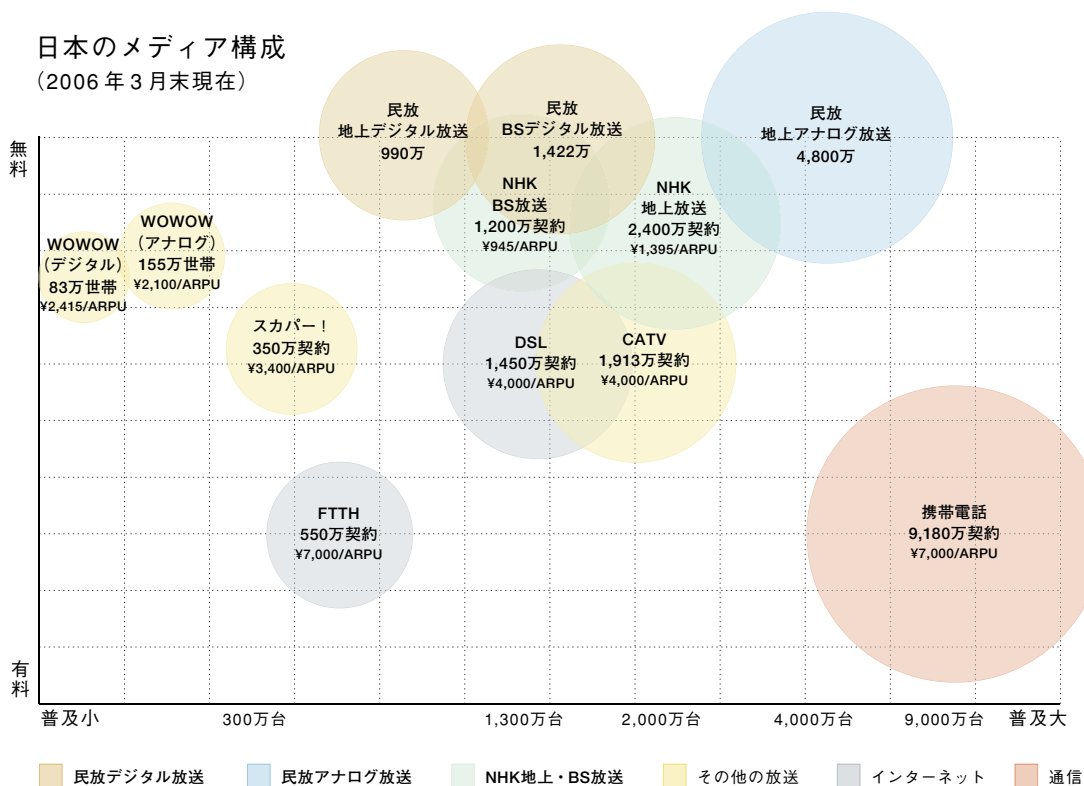
電波や放送を主管する総務省の許認可を受ける免許が必要であるとともに、新規参入などに制限があります。

Q2. 日本の地上波テレビネットワークの仕組みは？

公共放送であるNHKと、民間放送があります。民間放送は各系列に分かれ、東京に拠点を置くキー局5社の下に、系列ごとにローカル局が枝分かれしています。キー局とローカル局は、ネットワーク協定を結び、ニュース、番組、事業等でも協力関係にありますが、マスメディア集中排除の原則にのっとり、それぞれの局は資本も独立した放送免許事業者です。

●系列： NNN、JNN、FNN、ANN、TXN

●キー局： 日本テレビ放送網、東京放送（TBS）、フジテレビジョン、テレビ朝日、テレビ東京



Q3. 日本のテレビ視聴世帯数はどのくらい？

約4,800万世帯で、これは日本全国の世帯数にほぼ近い数字です。

Q4. ワンセグサービスって、一言でいうと何？

移動しながらでもきれいな映像を受信できる携帯端末向け放送のことで、テレビと通信サービスが連携し合う、世界的にみてもユニークな日本独自のサービスです。地上デジタル放送の目玉の1つで、現在は番組、CMとも据え置き型テレビ放送と同じものがそのまま放送されています。

Q5. CATV事情で日本と欧米との違いは？

最大の違いは、日本に比べ欧米のCATVの普及率が非常に高いことです。この背景には制度の違いや多言語の問題などがあります。

米国ではテレビ局の番組制作と保有を制限した時期が長く続きました。この間、ハリウッドなどでの番組制作が活発化し、番組の流通市場（シンジケーション）が発達しました。このおかげで過去のテレビ番組や映画を集めた専門チャンネルのビジネスが確立しました。日本ではこのようなシンジケーションが育っていないため、CATVなど多チャンネルサービスの普及が遅れていると考えられます。

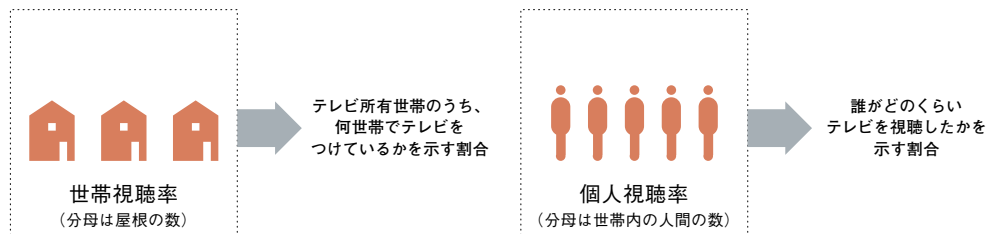
そもそも、日本では欧米に比べ中継局などの電波放送のための設備が整っています。アンテナを立てれば、無料で優良な民放テレビ番組を見ることができます。したがって、テレビ番組に料金を払う習慣が根付いていません。しかし、欧米ではCATVに加入しなければ、スポーツや映画などの人気番組を視聴することが出来ないことが一般的です。料金を払ってテレビを見る習慣が定着しているといえます。

欧米のように多民族、多言語の地域では、CATVなどの多チャンネルサービスにより、多数の言語をカバーしたりすることが必要になります。日本ではその必要が殆んどありません。こうしたことが、普及の差につながっていると考えられます。

Q6. 視聴率はどのようにして出されている？

(株)ビデオリサーチが視聴率調査を行っており、日本全国で27地区、6,600世帯の協力によって出されています。調査世帯数は日本テレビのある関東地区では、600世帯でピープルメーターというシステムを用いて、世帯視聴率と個人視聴率を同時に調査しています。視聴率調査の対象となる世帯は、統計学の理論に基づいて抽出されています。

(ビデオリサーチホームページより)



(出典：(株)ビデオリサーチ ITF・REPORT)

Q7. タイム・スポットセールスとはどんなセールス方法？

タイムセールスは特定の番組内にCMを流すことによって料金が発生します。通常は6カ月契約を結び、4月と10月に継続確認や、料金の改定を交渉します。不動産の賃貸契約に似ています。気に入った番組があっても空き枠がないと入れませんし、単発番組はさしずめホテルに一泊といったところです。

スポットセールスは、広告会社を通じて出稿する広告料金、希望放送期間と時間帯が提示され、それに沿ったCM放送のスケジュール案を作成し販売します。

CMは通常15秒単位で、番組と番組の間のステーションブレイクや、設定された枠(PT)で放送されます。オーダーメイドの衣服販売に似ています。視聴率という布が多いほど受注をこなすことができます。最近は布生地(個人視聴率)を要求されることが多くなっています。